
機動戦艦ナデシコGN

一味唐辛子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

機動戦艦ナデシコGN

【Nコード】

N2032V

【作者名】

一味唐辛子

【あらすじ】

朝起きてカーテンを開けたら周りが廃墟だった。技術者が起こすちょっと変わったナデシコの物語

第一話　　これはない

「なんじゃこりゃ」

あ…ありのまま今起こった事を話すぜ！

『俺は昨日、寝る前にカーテンをしめた。起きてカーテンをあけたら、周りが廃墟だった』

な…なにをいつてるのかわからねーと思うが、

俺も何が起きたのかわからなかった…

頭がどうにかなりそうだった…夢だとか地震だとか、そんなチャチなもんじゅあ断じてねえ。

もっと恐ろしいものの片鱗を味わったぜ…

とか、言ってるときじゃねえな。何が起きたんだいったいこりゃ！
よし、冷静になって考えよう。俺は神崎智樹。昨日はここ数年話題もちきりだったモノポールの発見に伴って、
会社で”GNドライブ”創れるかやってみようぜで、最後の調整が
終り明日発表って所で家に帰ってねたはずなんだが…

部屋は俺の部屋だし変わったとこないんだが、家の周りが廃墟
って…

まあ、いいか　ん？カレンダーの年数がに、2196年だどっ！

おかしいだろ昨日まで2020年だったのに！

慌てて、パソコンを立ち上げようと思ったたら見た事ないPCがある
な、ディスプレイねえし！

これが電源か？なに！画面が空中にういてるだど！いつの間時代
は進化したんだ。

まあ、結論から言つと間違いなく2196年だな。こいつは参
った、いつから俺は浦島太郎になったんだ。

情報収集でネット見てると、”ネルガル重工”って会社がでてくるな。知らねえしそんな会社。

つつか、有名企業全然のってねえんだけど。ありえんだろJK。

ねば ”木星蜥蜴”ってなんじゃらほい、地球侵略だど！これは調べねば

ふむ、なになに木星方面から現れた謎の兵器群。火星、月の裏側を占拠される。

ちよいまて、木星方面ってどうしてわかったんだ？来た方向から言ってるのかワープするところでもみたのか？つか、ワープあるのか？よーわからん。とりあえず、会社いつてみるか。おん？メールがきてるな。

どれどれ 「あなたはちにました。可哀想だから、生き返らせてあげるね。断じて、神様とかのミスではないからね。それとその世界はあなたがいた世界とは全然違いますからきをつけてね。ラダムに適当にぶち込んだじゃったwとか全然ないからね。あまりに可哀想だから、死なない様に色々体とか脳とか弄くってるけど体感にはあまり変わらないから気にしないでね。下の項目に5つ願い事書いてね。無理じゃなければ叶えてあげるから。では、アデュー」

．．．．．よし、神様しねx5 決定だな。書いたそばからきえてくじゃねえか おい

おれはこれからどうすりゃいいんだよー

第二話

機体の能力差が戦闘の能力差ということを教えてやろう

あや

さてと、5つなんかもらえるんだろどんなのにしようかな。

1つ目は、やっぱり世の中金だよな。

2つ目は、会社でももらおうか、ガンダムつくりてーんだよ

3つ目は、木星蜥蜴だっけ？いるのなら戦闘あるかもだから、死にたくねえし戦える能力だな。やっぱりニュータイプの能力かなアムロレイの二倍くらいの、まてよ死の感情が流れ込むとか言ってたな。まあ、脳弄くつてるとかいつてたから大丈夫だろう。

4つ目は、操縦技術をmaxに

5つ目は、未来の技術この先一万年先までだな

書き込んだ瞬間、後悔した頭超激痛そして俺涙目。

五分くらいたったか、痛みが収まったというか慣れてきた。何なんだこの体非常識にもほどがある。

お、メールが返ってきたな　なになに「決めたみたいだね、とりあえず銀行に金を振り込んでおきました見てビックリすることまちがいなしです。ニュータイプ能力は戦闘時のみにおきました。操縦はやってみてください。人間やめてます。未来の技術は間違っただいぶ先までいれちゃった　てへ¥（／／／／）¥では、頑張っけていきってください。P・S　注意しないと化け物と間違えてしまわれます。」

……と、とりあえず、会社に行ってみるか。地図が添付されてるか
らここだろうな。

「でさえよ、おい！まあ、入ってみるか」

「社長おはようございます」誰このイケメン。ふーん俺の秘書なのか、なに会議？いきなり？まあ、行ってみるか。

「では、社長も来られましたので会議を始めたいと思います。先日、我が社のシークレットサービスからの情報ですとネルガル重工が開発した戦艦が来月、火星に向けて出発する事が判明いたしました。社長が開発したGNDドライブ搭載型の戦艦の工期が遅れた事に拠り。政府はネルガル重工の戦艦及び機動兵器を採用する事を明確にしております。」俺、いつGNDドライブ完成させたんだるかまあいいや、ネルガル重工ねえー図面上みるとエンジン部分がブラックボックス化しててわからねえが、相轉移エンジンねえああ、あれが高いところから低いところに落ちる時相轉移する力を使うやつね。未来の知識半端ねえな。まあ、宇宙ならともかく大気圏内じゃ、ほぼ役に立たねえな。火星はテラフォーミングされて大気圏内なのに、火星の人達助けにいきあんのか？まあ、いいか俺の会社じゃねえし。

「まあ、慌てる事ないよ。うちの戦艦ができれば追いつけるだろうし、火星なんて5日もあれば着くでしょ。そして、エステバリスだっけ？戦艦の周りにしかいれないって欠陥品だろそんなもん。慌てる事はないよ」重役達に言っただけのいいが、うちの重役みんなわけーなおい、え、おれがそうしたってあ、そう…

会議のあと自室？に戻り開発中の案件をみていて、飲んでたお茶吹いた。なにこれ、戦闘介入でもすんのか？戦力半端ねえな。ガンダム00、ストライクフリーダム、インフィニットジャスティス

∴ e t c

誰がこんなもんつくつたの？え、おれ？そうなのね、俺の知らない
トコで色々動いてんなこれ。

あほ神様がやっただらうな。まあ、これから好きなようにやって
ヤンゼ

第三話 C e l e s t i a l B e i n g (前書)

第三話 C e l e s t i a l B e i n g

さてと、まずは現在の状況確認だな。建造中の戦艦はと…おふ、アークエンジェル級アークエンジェルだと…… おちつけ、ビークル……

アークエンジェル級 試験型 強襲機動特装艦 名称 アークエンジェル 略称 A A

メインエンジンにGNドライブを採用

GNドライブ採用により、単艦で大気圏突入離脱が可能

主要フレームにEカーボンの上位であるEEカーボンを使用し、戦艦ではかなりの軽量化がされている

GN粒子による隠密性に優れているが、周囲に妨害電波を発する事により密集された、レーダー群の中では逆に探索されやすくなってしまう為、4基のプラズマエンジンを搭載。又、光学迷彩展開機能 搭載している

搭載可能MS20機

主要装備

両舷カタパルト後部に大型GNキャノン4門
船体両側面部に小型GNキャノン4門

機首両側面にGNバルカン4門
船体前方両舷にGNミサイル12門
後方上部にGNミサイル16門
下部にGNミサイル10門
水中用として、GN魚雷発射口 4門

また、搭載機OガンダムによるGN粒子供給により船体機能向上及びトランザムを起動する事で、艦 自体にもトランザム状態にする事が可能

む、無茶苦茶だなおい。だが、GNドライブの使用頻度が高くなるとまずいなこれ。よし、あのセリフを言う為にもアレでも追加しとくか……

しかし、うちの会社名ってソレスタルビーイングだったのね。今、気付いたよ。それと艦載機はOガンダムが1機。ガンダムヴァーチェが1機。ガンダムアストレイ5機。の計7機かGNエンジンがいまだに5機しかないから、無駄に増やせないのよね。パイロットも俺以外決まってないし。どうするべ…まあ、なんとかなるだろ。とりあえず、パイロット探すかな。シュミレーターを改造してとゲームセンターにでも設置するかな、一回200円でネット対戦型にしてと自分でカスタマイズ可能にすつかカスタマイズアイテムをネットで販売して1個50円くらいで、安ければ食いつきもいいだろ。

け、結論からいって爆発的な人気になりました。設置1週間でゲームの売上だけで30億だぜ、ゲーマー多いなおい。さてと、上位6人をスカウトに向かわせるかな あとカスタマイズのプロもいる

みてーだしそいつらもスカウトするかな。

第四話

智樹と愉快な仲間達

スカウトに向かわせて、来てもらったのは四人だった。他の人達は、今の仕事がいいんだってさ。給料を月に一千万提示したのになやりがいつてのはやっぱりあるんだな。家族いるやつもいたしな。

まず一人目、ランキング一位である『ヒトオシ・ケント』

元軍人だそうで、筋肉マッチョですな。しかもイケメン。

まあ、シュミレーターといってもちゃんとGはかかるしな、引きこもりには向いてないゲームだな。ケントはネルガル重工のスカウトが来たんだが、丁度その時、怪我をしまい自分から断わったそうだ。真面目を絵に描いたような人物でもあるな。ただ、趣味がゲームってというのがギャップだな。ケントにMSの小隊長をお願いした。

二人目は、『ミナモト・シズカ』どっかの青いためきを思い出してしまった。彼女は、所謂孤児であり誰も親類いないしと快くスカウトされたと聞いた。彼女はランキング五位であり、高速機動力によって他のつわもの達を倒してきたんだとか。彼女の身体能力はズバ抜けて高いらしいが戦いの専門家からいわせると法則性があつて、見極めれば倒しやすいのだとか。まあ、彼女より上位は全員軍人みたいだからね何となく納得できる部分もある。

三人目は、『ゴトウ・ゼンジロウ』50代のおじさまであるが、なんとこのオヤジカスタマイズで本来の二倍のスペック叩き出したんだが、俺がやっても1.8倍しか出せなかったのにどうやったんだか聞いてみると経験からくる駆動系の仕組みがウンタラカウンタラでとか、長くなるので省略するが、まあ重要な人見つけたと

思ったね。整備士の責任者になって貰おう、因みに奥様も一緒にスカウトしました。食堂やってただけで無茶苦茶美味かった。

四人目は、『ジングウジ・キョウタロウ』何処のアイドルだよと思う程の美形。スカウトされた理由は今までなんでもできた自分が唯一、同じ素人のシズカちゃんに負けたのが嫌だったらしい。本当の理由は他にあるんだが、ここでは内緒にしておくか。

ケント、シズカ、キョウタロウで小隊を組んでもらい俺とのシュミレーターで対決してもらった。

機体は全員がガンダムアストレイ。ケントが指揮を採り、前衛がシズカ、後衛がキョウタロウみたいだな。つと、キョウタロウがかなり離れた場所から狙撃を開始し出した。リーダーに写ってないのどこからだよ、ピーンって感覚でキョウタロウの場所を逆狙撃。おし、ライフル撃破。なんか、キョウタロウが文句いってるが知らね。と思ってたらシズカが突っ込んでくるがアツサリ躲し逆に、サーベルで脚を斬りつけ行動不能にする。さてと、あとはケントか……

舞台である市街地戦でこうもアツサリと社長は二機を手玉にとっていく。信じられない腕だな軍にいたら間違いないくエースになってるであろうな。

「キョウタロウ、まだ動けるだろう」

「もちろんだぜ、ダンナ」

「俺のライフルを渡す、突っ込むから支援してくれ」

「了解、だがなダンナ。あの化け物についていけるのか？」

キヨウタロウの発言に思わず、口許が緩む。

「まあ、確かに凄腕だが方法がないでもない」

「どんな方法だ？」

俺は、キヨウタロウに作戦を伝えると社長に向けて突撃を開始した。当たっても知らんとキヨウタロウの声を聞き流しながら、体にかかるGを心地よいと感じながら……

お、ケントが突っ込んできて……！ええええええっそんなのありかよ！キヨウタロウが撃ってるライフル群を背中に向け避けながらつこんでくるんですが。ニュータイプなのか、ニュータイプですよねそれ俺にも同じ事出来るけど態々模擬戦でする事ないよねっと、こいつは厳しいな。キヨウタロウもいやなところ狙ってくるぜ。だがな、上には上がいるんだよ！

おいおい冗談だろ社長のやつ、俺のライフル射撃ビームサーベルで捌いてんだけど！ありえないってそんなの！こりや参ったな。ケントも頑張ってるが時間の問題だな、あっ片腕もがれたなこりゃ降参だな明日から社長に鍛えてらうか

私は、信じられない物語を見せられている気分だ。突撃って思って絶妙なタイミングで斬りにいったら何時の間にか、逆に切られてた。訳が分からないうちに今度はケント隊長がビームライフルを背に受け身もせずには身を隠しながら突撃していく。にもかかわらず、社長はビームサーベルでビームを弾いてるし……

化け物ばかりね此処は、楽しくなってきたよ。明日から鍛えてもらいますか、覚えてなさい同じ女性で私より上にいた

軍人共。名前なんだっけ？スバルにアマノにマキだっけ？ついでに
熱い男のダイゴウジだったかな？今度会ったらケチヨンケチヨンに
してやるは

第五話

机上の空論

なにそれ？おいしいの？part 1

「おーい、ぜんさん」

「おう、社長かなんだね」

「いやね、ケント達の機体を作って貰おうと思って」

「データみせてくれるか？………ほう、上手い具合にはらけてんな」

「そうなんだよね、小隊組むにはちょうどいい感じでしょ」

「確かに、これならいい案があるぜ」

ゼンさんには、色々機体の情報を渡してあるが、最初かなり戸惑っていた。まあ現時点で製造理論もできていないパーツが山のようにあるからな。

だが、俺もゼンさんを甘く見てるようだったのはこの後すぐに思い知らされた。

ゼンさんに依頼した二週間後、ゼンさんから連絡を受けパイロット全員が第一機体保管室に呼び出された。

「ゼンさんなんだい？ いったい」

「ああ、お前らの機体が出来たんできてもらったんじゃい
お、いよいよかワクワクするぜ！ ま、俺はOガンダムだろ
うけど。」

「まずは、ケントの機体からだが RX-93-3

GN ガンダムと名付けさせて貰った。こっちが仕様書だ。」

型式番号 RX - 93 - 3

機体名 GN - ガンダム

全長 20m

装甲材質 サイコミュEEカーボン

武装 GNライフル

GNサーベル×4

GNバルカン×2

両腕部GNミサイル

GNフィンファンネル

特徴 GNDライブをメインエンジンに

採用し、半永久稼働を実現。GNフ インファンネルは、脱着

可能に変更し、フィンファン

ネル自体にもGNフィールドを展開。？ フィンファンネルを三角

錐の形状を保ち先端を目標に向け、GN粒子をチャージすればハイ

パーメガGN粒子砲を使用可能。トランザム機能を搭載。

自重しろと言いたくなつたのは、俺だけではないはず。ケ
ントが苦笑してるぐらいだからな。さて、次はだれなんだ？………

第五話

机上の空論

なにそれ？おいしいの？part・i（後書き）

現在、cadで太陽炉載せたHi・描いてみるが、コクピット
潰さないと隙間ないねw

そんな俺の職業は設計士w

第六話

机上の空論

なにそれ？おいしいの？part・2（前書き）

ナデシコを最初からみなおしてたら遅くなりました。すみません。

第六話

机上の空論

なにそれ？おいしいの？ part 2

さてさて、シズカとキョウタロウの機体はなんだろね。

「嬢ちゃんは、元々社長の為の機体だったが接近戦とくいとつだから、こいつをまかせるは。坊主はこいつだな。」

おっと、シズカにはOガンダムでキョウタロウはデュナメスガンダムか。まあ、妥当だねえでも、俺の機体はナンジャらホイ。

「で、社長の機体はこれじゃな。」

どれどれ……………

機体番号 ODB-0001

機体名 オドントグロツサム

全長 20m

装甲材質 サイコミューEEカーボン

武装 ハイパービームライフル×2

ハイパービームサ

ーベル×4

ハイパーメガ粒子砲

ファンネル×20

ラナインゲート

仕様

メインエンジンに縮退炉を搭載。

ブラックホールフィールドを展開可能。ブラックホールフィールドを展開時は、あらゆる攻撃を無効化。但し、長時間の展開はエンジンに負荷がかかり過ぎる。

ラナインゲートを展開する事で、短距離ワープを可能とした。

「……………ゼンさん自重しろ」

「まあ、言わんとする事はわかるが社長に死んで貰っちゃ困るからな」

「しかし、これはフィールドやラナインゲートは使えねーな。よつぽどのこたがない限り」

「まあ、そうじゃろうな。なくてもいいと思ったが、まあ僕の思いを詰め込んだ……………名前にな」

「名前?……………」

「まあ、其れは自分で調べてくれや。じゃあな。」

名前になんか意味が有るんだらうか……………

乗った感想から言わせて貰えば、こりやすげーなだ。エステバリスだっけ?ネルガル重工のやつデイストーションフィールドってやつがどうか知らんが、うちの機体のやつなら意味なさないだらうな。

そう言えば、明日出るんだっけ?ナデシコとか言うの。頑張ってね〜とかしかいえんはな、追いつくつもりだけど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2032v/>

機動戦艦ナデシコGN

2011年8月3日17時53分発行